

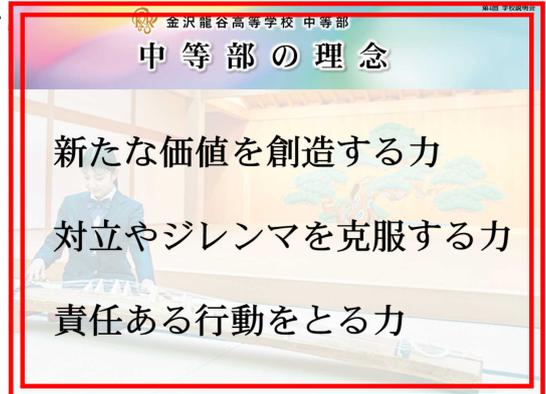


## 説明不足を補います ②

これからは、こんな説明不足の私を信じて、11日の受験を決意してくださった保護者の皆さんのために、もっとストレートに語っていくことにします。誤解を恐れなくて。

決意した以上は有言実行したいと思います。

もちろんこれは高島栄治の私見であって、退職された中学校校長の意見をまとめたものではありませんので、私の書くことに賛同される人がいるかもしれませんが、全く正反対の考えの方もおられるかもしれません。まあ、そんなことを断っていること自体、誤解をおそれている証かもしれませんが、とにかく今週は、このスタンスで。



まずは、私の知っている学校の問題点を整理してみます。それは以下の4つです。

- ①指示に従うことが最優先
- ②暗記することが前提の学び
- ③真の自主性は不要
- ④学び方の違いに対処していない

### ①指示に従うことが最優先

生徒はチャイムの音によって支配されています。そして一日中、生徒は指示に従うだけです。座って、教科書を取り出し、ノートに書き写し、問題を解き、私語は禁止です。言われたことを正確に行うことが大事なのです。

産業化時代ならば指示に従って言われたことを正確に行うことが成功に直結したかもしれませんが現代社会では、クリエイティブで、自分のアイディアを持つコミュニケーション能力が高い人が評価されるようになっていきます。しかし、そのような能力を学校で育てることは極めて少ないのです。

### ②暗記することが前提の学び

学校での学習は、暗記することが大前提になっていて、覚えなければならぬ一般的な知識を詰め込むことが基本です。数ヶ月ごとに、どれだけ暗記することができたかを測るためだけのテストが施されます。生徒たちは延々とこのような授業を受け、すぐに忘れてしまう無駄な知識を徹夜で丸暗記させられることが勉強であると教え込まれています。

### ③真の自主性は不要

現代社会では重要な仕事を任された場合、いついつまでに何を行うべきかというタイムマネジメント能力が必要不可欠です。しかし、それを育てる場は学校にはありません。役に立たない授業であっても、流れるがままに受け続けることが基本です。自主性をなくし、勉強が嫌いになったり不登校になってしまうのも、仕方がないのかもしれませんが。

### ④学び方の違いに対処していない

人はみな、学び方や、学ぶためにかかる時間、どのように学ぶのが効率的か、が違います。

しかし、学校では、みんなが同じ学び方を、同じペースでやるのが義務付けられています。誰もが同じペースで同じことを学ぶことを維持するために、本気で授業にICTを活用する事を、先生たちは避けてきました。

この ①②③④ における、マイナス面を直ちに是正する必要があるのです。

この ①②③④ には、プラス面がたくさんあります。そのプラス面をなくしてしまっても、取り組まなくてはならないのです。

でも、普通は、そのプラス面を失いたくないのです。

